

コンパス薬局瀬谷 スキルアップ勉強会

2016. 7. 21 作佐部

第56回『ツムラ芍薬甘草湯』

株式会社ツムラ 廣田 卓哉さん

参加者：佐藤(直)、小西、川原、友定、生越、佐藤(綾)、阿部、梅津、伊藤、作佐部

2000年度を底に漢方の市場は着実に拡大しており、2014年度における漢方薬（医療用漢方製剤）の市場規模は1,405億円に達している。その中でツムラのシェアは2015年3月末時点で84.5%になっている。また医療用医薬品に対しては2年に1回の薬価改定（引下げ）が行なわれるが、漢方薬はその有用性が認められ、漢方医学の普及も進んでいることから、薬価の引下げを吸収し、堅実に成長している。

【効能・効果】

急激におこる筋肉のけいれんを伴う疼痛、筋肉・関節痛、胃痛、腹痛

【用法用量】

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

慎重投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

重要な基本的注意

1. 本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
2. 本剤には甘草が含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
3. 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

【薬効薬理】

- ・抗アロディニア作用
- ・ノルアドレナリン神経系活性化作用
- ・子宮収縮抑制作用

【特徴】

- ・肝硬変、糖尿病、脊椎疾患、血液透析、癌などの患者の有痛性痙攣（こむら返り）、筋肉痛などに効果がある。
- ・抗筋痙攣作用、抗アロディニア作用及び抗侵害受容作用が認められている。
- ・本剤の使用にあたっては、治療上必要な最小限の期間の投与にとどめておく必要がある。

【副作用】

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

重大な副作用

1. 間質性肺炎

咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音の異常等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線、胸部CT等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。

2. 偽アルドステロン症

低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

3. うっ血性心不全、心室細動、心室頻拍(Torsades de Pointesを含む)

うっ血性心不全、心室細動、心室頻拍(Torsades de Pointesを含む)があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、動悸、息切れ、倦怠感、めまい、失神等の異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

4. ミオパチー

低カリウム血症の結果として、ミオパチー、横紋筋融解症があらわれることがあるので、脱力感、筋力低下、筋肉痛、四肢痙攣・麻痺、CK(CPK)上昇、血中及び尿中のミオグロビン上昇が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

5. 肝機能障害、黄疸

AST(GOT)、ALT(GPT)、Al-P、 γ -GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

【考察】

本剤全体の副作用の発現頻度は低めではあるが、その中で甘草による偽アルドステロン症(低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加など)の発生頻度が高めである。万が一、低カリウム血症が起きた場合は薬剤の投与を中止する、緊急時にはカリウム剤を経口投与あるいは点滴静注により補給するなどして対処を行う。漢方薬の約7割に甘草が入っているため、重ねて処方されている場合は特に注意して服薬指導する必要がある。

【質問事項】

Q. ツムラの製品とクラシエの製品ではどのような違いがあるのか？

A. 生薬の原産地や仕入れ、賦形剤などの違いがある。

Q. 食前と食後ではどの位効果が違うのか？

A. 実際のところほとんど変わらない。

以上